

中山間
地域の

空き家を取り巻く問題への対応

～今後も増える空き家をどう捉え、地域で対応するか～

- 中山間地域では今後、多くのエリアで人口減少、高齢化が加速することが予想されます。
- そのような社会情勢の中でも、地域で安心して暮らし続ける環境を確保していくためには、これまで以上に、限られた人材と資源を活用しながら、見守りや買物支援、移動支援等福祉の取り組み、空き家対策、人材確保・育成など地域課題に対応することが必要となります。
- また、従来から活動する地縁型組織と、事業型組織との合意や共感などに基づく連携体制も不可欠です。
- 担い手が限られる中で課題が拡大しつつある今日、各地で先行的に取り組を進めるリーダーの考える地域づくりの抑え処や、実務上のポイントをお聞きし、事業計画づくりや各活動に取り込んで頂きたいと考えています。

今回のテーマ

「家」「空き家」の所有をコスト・家計管理・資産運用の視点で見直し、活用を考える

- 空き家をめぐる状況や課題は多様であることを踏まえ、空き家の管理・活用に取り組んでおられる行政書士/ファイナンシャルプランナーの濱田さんによる講義/ワークを通じて、次のことを得ることを考えています。
 - ・空き家をめぐる現状について多角的に理解する
 - ・所有する「家」「空き家」の所有をコスト・家計管理・資産運用の視点の見直し方を学ぶ
 - ・ワークを通じて、「家」「空き家」を損益計算、貸借対照の視点でとらえ直すことを体験する
- オンラインでの研修会です。講義/ワークの実施後に、意見交換の時間を作る予定です。
- 解決策を見出す場ではなく、それぞれの現場に即した情報共有、解決に向けた考え方のヒントを得る場とします。

定員 10名
(先着順)

参加費無料

定員：10名
先着順

申込〆切
2月24日（火）12:00

タイムライン

- 13:20 受付開始
- 13:30 開会
講義・意見交換
- 15:00 閉会

開催形式

オンライン開催（Zoomを使用）

日時

2月26日（木） 13:30 - 15:00

※変更になる場合、中山間地域研究センターHP等でお知らせします

講師



濱田 達雄氏
（株式会社OKU-Reno./オクリノ不動産 代表取締役）
奥出雲町出身。2017年、奥出雲町三沢で株式会社OKU-Reno. を設立。不動産事業を中心に「まちのにぎわいをつくる」複数事業を島根県東部中心に行ってる。行政書士、ファイナンシャルプランナー。

<事前の質問について>

質問を事前に受け付けますので、お申し込み先までデータにて質問をお寄せください。

お申込み先は裏面

【参加申し込み書】

①参加される方の氏名・連絡先等

氏名・所属 () 所属・役職 ()
連絡先（メールアドレス） @

②貴地域の段階について

- ①空き家の管理・活用に向けてまだ動いていない
- ②空き家の管理・活用を計画している
- ③空き家の管理・活用を開始して3年未満
- ④空き家の管理・活用を始めて3年以上経過している
- ⑤空き家の管理・活用を始めて5年以上経過している

③お立場について

- ①空き家管理・活用を担う団体の一員または個人
- ②空き家の活用を検討している地域の住民
- ③空き家の持ち主
- ④空き家活用の活動のサポート（行政職員、中間支援組織等）
- ⑤空き家活用に直接は関わっていないが関心を持っている

④今回の研修会で特に聞いてみたい事項

※当日運営の参考に致しますので

必ずご記入下さい

関わっている団体が面する問題、
課題感、疑問点を踏まえてご記入ください。
なお、当日の進行でご指名して質疑をしてもら
うことがございますので、ご了承ください。

- 1. 空き家の取り組みの地域内の合意形成について
- 2. 担い手、人材の確保・育成等について
- 3. 空き家の持ち主との関わりについて
- 4. 地域の関連するプレイヤー（行政、地域団体、個人）との
関係性構築について
- 5. これからの空き家管理の在り方について
- 6. 自地域に合った空き家対策の考え方について

⑤今回の研修に期待すること (自由記述)

通信欄

参加申込書送付先：本申し込み書に記入頂き添付頂くか、メールに①～⑤と同じ内容を記載して頂き下記のアドレスまでお申し込み下さい。

お申込み先：島根県中山間地域研究センター 研修参加受付 地域研究科・有田 ck-chosa@pref.shimane.lg.jp